

[ 抄録様式 ]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 28 年度 歯科保健活動助成事業報告書抄録</p>
1. 事業名：全国地域で取り組む水道水フロリデーション住民学習活動
2. 申請者名：NPO 法人 日本フッ化物むし歯予防協会 会長 山内 皓央
3. 実施組織：[企画運営] NPO 法人 日本フッ化物むし歯予防協会（旧日本むし歯予防フッ素推進会議）、[協賛団体] 市民団体：吉川フロリデーション推進会議（埼玉県）、And You(あゆ)の会（富山県）、長崎フロリデーション協会、北海道子どもの歯を守る会、健康増進ネットワークおこやま、NPO 法人：ウォーターフロリデーションファンド、県行政：新潟県、宮崎県、[学術支援団体] 歯科医師会：山梨県歯科医師会、川崎市歯科医師会、富岡甘楽歯科医師会、歯科学会：日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会、歯科大学：朝日大学歯学部（社会口腔保健学）、鶴見大学歯学部（地域保健学）、神奈川歯科大学大学院（口腔衛生学）
4. 事業概要：市町村単位の住民学習活動として、前年度に引き続き、吉川市を舞台に、水道水フロリデーションの科学に関する正しい情報の提供を継続した。活動の継続により、市民が水道水フロリデーション受け入れの判断を自発的に行えるようになることが期待される。また協賛団体や学術団体の実施組織内では、水道水フロリデーションの実施に向けた問題点、課題についての研修会などにより、それらの整理を行い、全国数カ所で地域活動が芽生えることを目指し、合わせて、これら活動促進のため学会・歯科大学との連携を図った。
5. 事業の内容： (1) フロリデーションに関する啓発資料の作成更新と配布：リーフレット、風船等 (2) 地域における啓発講座：講師派遣 (3) 地区イベントに際しての展示ブース：資料配布・フロリデーション水の試飲・歯科相談・フッ化物洗口やフッ化物歯面塗布体験・歯科相談・ゆるきゃら“フロリン”の活用 (4) ホームページでのフロリデーション科学情報の提供 (5) 実施組織内部における担当者対象の研修会や協議会の開催 (6) 各地域からの相談受付
6. 実施後の評価： 本事業では、全国各地においてフロリデーション（WF）に関する正しい知識の啓発と公衆衛生的考え方の普及活動を支援してきた。各地域において、限られた資源ながら有効活用の創意工夫が懸命に試みられ、住民における認知度の向上に繋がっていると評価される。一方、市行政が突然に WF 推進方針を変更した地域においては、残された市民による草の根運動的な活動を余儀なくされている事例も見られた。今後、本事業のごとく地道な住民学習活動が実を結ぶために、実施の舞台となる自治体が WF 導入に向け具体的な取り組みに踏み出すことが必要である。さらに根本的な推進力として、日本歯科医師会が主導し政府と専門学術団体が連携した「WF 特別委員会の設置」、厚生労働省の責任による「WF 実施マニュアル」の作成が不可欠と考えられた。70 年以上の実績を持つ米国をはじめ、オーストラリア、韓国など WF 先進国の成功例を手本にした、国レベルでの公衆衛生施策導入が望まれる。